

岳洋学舎 (岳洋中 小笠北小 小笠東小 小笠南小) No.9 令和8年3月

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

地域に支えられて育つ子どもたち

いつも学校の活動をあたたかく見守り、支えてくださり、本当にありがとうございます。岳洋学舎では、地域の皆さんと学校が力を合わせ、子どもたちの成長を応援する取組がたくさん行われています。PTA・民生委員の皆さんのあいさつ運動や地区の皆さんのスクールガード・見守り活動は、子どもたちが笑顔で一日を始める環境をつくっていただいています。



地域イベント「代官屋敷竹あかり展」の準備を手伝う小笠北小6年

おかげさまで、子どもたちはこの一年、皆さんとのふれあいを通して、たくさんの経験を積み、自信をつけてきました。

今、子どもたちにとって大切なことは、「いろいろな体験をすること」と、その体験を通して「自分ができる」と思える気持ちを育てることです。お茶の手もみやお米づくり、野菜づくりの体験、読み聞かせ、地域行事への参加など、地域の皆さんと関わる時間は、子どもたちにとって“認めてもらえる経験”となり、自己肯定感を育てる大切な場になっています。この“本物の体験”と“自己肯定感”の高まりが、確かな学力をつける基盤となるのです。

地域全体で年齢をこえて学び合う姿がたくさん見られます。このような取組が、子どもたちの「地域が好き（郷土愛）」という気持ちにもつながっています。

コミュニティ・スクールづくりを進める学校運営協議会では、こうした活動をさらに広げ、子どもたちの「積極的な体験の機会を増やす」と「自己肯定感の向上」をいっそう図っていくために、来年度に向けて、次のことに力を入れていくことにしました。



岳洋学舎学校運営委員会（年間6回開催）

<力を入れること>

- ◇子どもたちが本に親しみ、豊かな心を育てていけるよう、地域の皆さんといっしょに子どもの読書環境を整えていきます。
- ◇地域の行事に子どもが参加することで、「地域の一員なんだ」と感じられる経験を増やしていきます。
- ◇地域の皆さんと一緒に土に触れ、花や植物を育てることで、協力する楽しさや達成感を味わえる活動をしていきます。

来年度も、どうぞ温かな目で子どもたちを見守り、声をかけ、育てていただければ幸いです。



社会科・総合学習 田植え（小笠南小）



生活科 だいこんのたねまき（小笠東小）



家庭科 ご飯とみそ汁づくり（小笠北小）



総合 ジュニア防災士取得の学習（岳洋中）

担当 岳洋学舎ディレクター（大石） 電話 73-1113